

2. 那覇市の現況

1.位置・地勢

沖縄県は、北緯24～28度、東経122～133度の南北約400km、東西約1,000kmの海上に弧を描いて連なる160の島しょの内、有人島39からなっている。その中で那覇市は最大の島、沖縄本島の南部に位置している。

また、本市は鹿児島と台北のほとんど中間にあり、那覇を中心とする1,500km の円周域には、東京、ピョンヤン、香港、ソウル、北京、マニラなどの主要な都市があり、交通通信機能の上からも東南アジアの各都市を結ぶ要衝の地点であり、わが国の南の玄関として地理的に好条件の位置にある。

地形は、旧市内を中心とする中央部においてほぼ平坦をなし、これを取り巻くように周辺部には小高い丘陵地帯が展開している。また、市内を東から西に国場川と安里川が流れ、前者は那覇ふ頭、後者は泊ふ頭を経て東シナ海に注いでいる。

出典：「那覇市HP：市のプロフィール」／那覇市

2.面積

那覇市の総面積は、41.46k m²（令和5年10月1日現在）である。

出典：「第63回那覇市統計書」／那覇市

3.人口及び世帯数（令和5年12月31日現在）

総人口	315,485 人
世帯数	159,637 世帯
男 性	152,744 人
女 性	162,741 人

出典：「第63回那覇市統計書」／那覇市

4.産業と構造

那覇市の事業所数は16,770ヶ所、従業員数は161,824人である。市内の産業構造は第3次産業が大半を占め、第3次産業に携わる事業所数は15,570事業所（全事業所の92.8%）、従業員数は149,320人（全従業者数の92.3%）となっている。中でも卸・小売業では3,833事業所（22.9%）で、29,409人（18.2%）、飲食店・宿泊業では3,054事業所（18.2%）で20,929人（12.9%）、また生活関連サービス業、娯楽業とサービス業（他に分類されないもの）2,372事業所（14.1%）で25,702人（15.8%）が従事しており、那覇市は商業及びホスピタリティ産業を中心とした産業構造を形成しているといえる。

出典：「第63回那覇市統計書」／那覇市

5.気象概況

亜熱帯モンスーン地帯に属する沖縄の気候は、四季を通じて平均気温が22℃、平均湿度が77%で春秋の季節の特徴は、はっきりしていないが、連日、気温 30 度前後の蒸し暑く長い夏と気温 16～17℃の暖かく短い冬に分けられる。春から夏にかけては雨量が比較的多く、夏から秋には熱帯低気圧の通過路となって、毎年数個の台風が来襲する。特に、沖縄近海が台風の進路変更点になっているため、台風通過の際、長時間にわたり強風におそわれることが多くなっている。

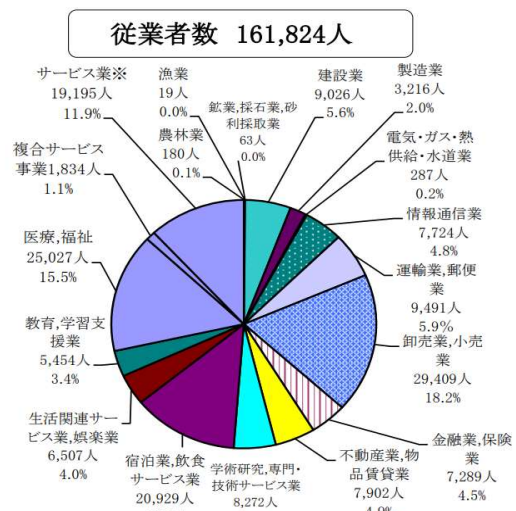
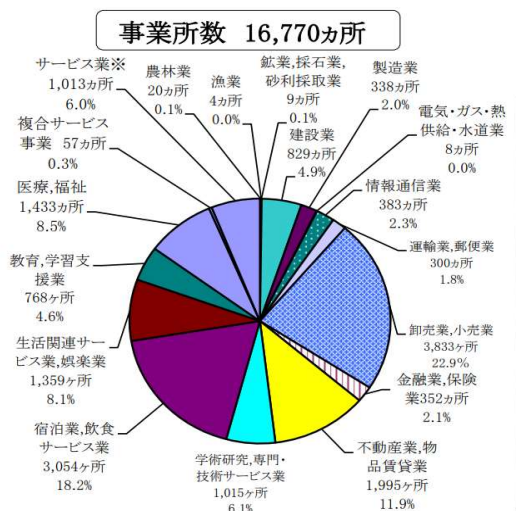
出典：「那覇市HP：市のプロフィール」／那覇市

●市勢

項 目	数	期 間・時 点	備 考
市域面積	41.46 km ²	令和5年10月1日現在	
世帯数	159,637世帯	令和5年12月31日現在	住民基本台帳
人口	315,485 人		
外国人世帯・人口	世帯数 4,712世帯 人口 6,678人		
人口密度	7,688.4 人	令和2年10月1日現在	令和2年国勢調査推計の面積（41.42km ² ）
昼間人口	347,019 人	令和2年10月1日現在	令和2年国勢調査
常住人口	317,625 人		
第1次産業従業者数	824 人		
第2次産業従業者数	12,244 人		
第3次産業従業者数	107,615 人	令和5年（年間）	
転入者数	16,660 人		
転出者数	17,031 人		
出生数	2,277 人		
死亡数	3,451 人		
事業所数	16,770 事業所	令和3年6月1日現在	経済センサス-活動調査
従業者数	161,824人	令和2年6月1日現在	工業統計調査(従業者4人以上の事業所)
事業所数（製造業）	83 事業所		
従業者数（製造業）	2,068 人	令和2年2月1日現在	2020年農林業センサス
農家数	72 戸		
農家世帯員数（販売農家）	197 人	平成26年7月1日現在	商業統計調査
商店数	3,041 店		
内 訳	卸売業 693 店 小売業 2,348 店		
従業者数	21,354 人		
内 訳	卸売業 6,173 人 小売業 15,181 人		
住宅総数（居住世帯なしを除く）	138,040 戸	平成30年10月1日現在	住宅・土地統計調査
内 訳	持ち家 48,560 戸 借家 84,440 戸		

※出典：「第63回那覇市統計書」／那覇市

※サービス業は他に分類されないものである。



※出典：「第63回那覇市統計書」／那覇市